

2018年のアニメ市場は2,549億円に縮小

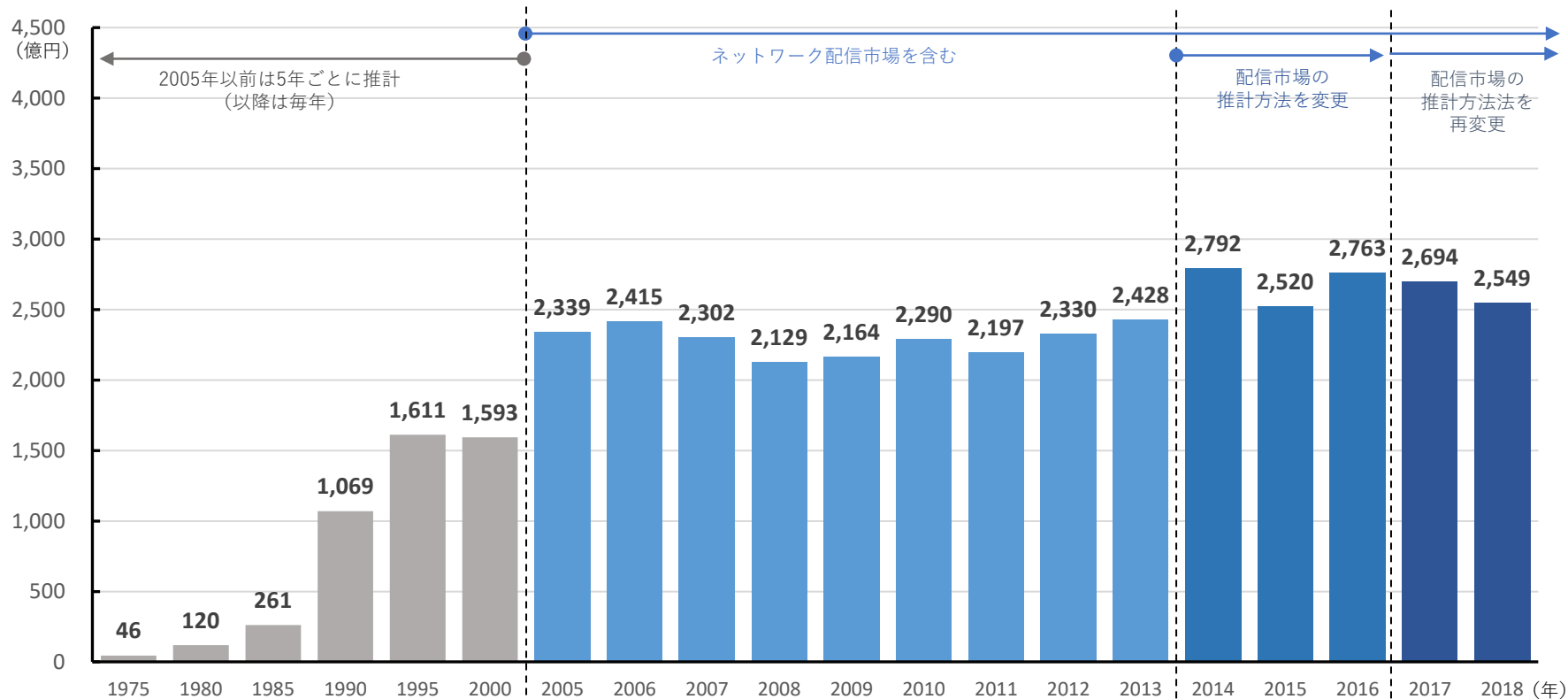
2018年のアニメ市場は2,549億円（前年比94.6%）となり、2年連続で市場が縮小。
アニメ映画とアニメビデオソフトの両市場の大幅な縮小を、要因として挙げる事ができる。

MDRI
Press Release
<2019.11.01>



- 特にアニメビデオソフトは前年比75.7%と大幅に減少し、アニメ市場全体に大きな影響を与えている。
- アニメ映画市場は、邦画の『名探偵コナン』『ドラえもん』等の定番シリーズが順調だったが、洋画アニメが

- 予想を下回る作品が多く、縮小につながった。
- 一方、市場拡大が続いているのは、アニメ配信市場。日本のアニメコンテンツは海外でも人気が高く、世界がターゲットの動画配信サービスでの需要が高まっており、今後の伸びも予想される。



■アニメーション市場の推移<1975-2021年>

<アニメ市場の範囲>

劇場用／テレビ用／ビデオソフト用（セル／レンタル）／ネットワーク配信用（PC、IPTV、スマートフォン・フィーチャーフォン向け）

注：算出額はユーザー支出レベルで統一。

ただしユーザーが直接支出に関与していない地上波およびBS放送用のテレビアニメに関しては便宜上、製作費を採用。